

科目名	刑事政策B Criminology B						
科目担当者							
単位数	2	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(2)(3)
授業の概要	刑事政策の目的は犯罪を予防し減少させることであり、起こった犯罪の行為者を社会的に無害に変えて社会復帰させることである。理論的精緻さ、体系性を追求する理論学と異なり、社会の状況に合わせて最適な政策は何かを追求する政策学として、問題解決を考える。そのため、まず現実の社会で犯罪はどのように起こっているかの統計的・現実的認識が必要になる。具体的には、警察、検察、裁判所、法務省等、信頼性の高い公的な統計をもとに、社会と犯罪の現実を知ることが前提となる。						
授業の到達目標	①刑事政策とは何かを理解する。 ②刑法のような「理論学」とは異なる「政策学」であることを理解する。 ③国家や社会が、様々な法令と手段を用いて行う、刑事政策の実態と理想像を理解する。 ④各種統計から犯罪現象の実態を知る。 ⑤どのようにして犯罪を予防し犯罪を減少させるかを考える。						
授業計画・内容	1	国家と刑事政策、政策学の特色、刑事政策の目的と実現方法					
	2	犯罪の動向、日本の動向、宮崎県の動向、動向の社会的背景、犯罪の原因					
	3	矯正と刑事施設、矯正の理念、全国の刑事施設概観					
	4	矯正処遇の充実、刑事施設での矯正の現状					
	5	再犯の状況と再犯防止対策					
	6	刑事手続と刑事政策、法律と法制度					
	7	外国人犯罪					
	8	刑事手続の中の刑事政策、ディバージョン					
	9	マスコミの犯罪報道と刑事政策					
	10	刑事裁判の前後の刑事政策、犯罪予防と再犯防止、社会復帰の制度					
	11	刑事訴訟と刑事政策、冤罪の現状、有罪率・無罪率の現実と刑事政策					
	12	裁判員裁判と刑事政策					
	13	日本社会の貧困拡大と刑事政策、「最良の刑事政策は経済政策である」					
	14	国家による秩序維持と刑事政策、犯罪の取締り					
	15	犯罪現象のための刑罰の有効性					
授業外学修 (事前学修)	Moodle に授業前に掲載するレジュメを読み考える。考えた上で疑問点・質問をメモする。関連事項をインターネットや他の情報源で調べておく。(毎週 2 時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	その回の課題があれば、考えて答えて次回提出する。疑問点をインターネットや他の情報源で調べて考える。(毎週 2 時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	課題の提出及び内容					40%	①、②、③、④
	学期末試験					60%	①、②、③、④、⑤
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合 ・課題に答えて提出していること						
教科書	三井誠・瀬川晃・北川佳世子編『入門刑事法 [第 8 版]』(有斐閣) 及びレジュメ						
参考文献	その都度案内する						
その他	毎回パソコンを持参してインターネットに接続する。スマートフォンも活用する。						